

沖縄戦関係年表（1945 年）

1945	1/5	西原村の青壮年多数が西原国民学校駐屯の独立歩兵第 11 大隊や浦添国民学校駐屯の独立歩兵第 14 大隊へ現役兵入隊。 島田勲大阪府内政部長、沖縄県知事に任命される(1 月 31 日着任)。
	2/21	満 17 歳から 45 歳までの西原村民多数が防衛隊として召集される。
	2 月	西原村棚原に野戦病院(壕)開設。
	3/6	「国民勤労働員令」が公布され、県下の満 15 歳から 45 歳の男女全員が現地召集される。西原村からも防衛隊として守備軍各部隊へ入隊。
	3/10	東京大空襲(26 万戸焼失、死傷者約 8 万人)※①
	3 月	東海岸地域の西原村民(仲伊保、小那覇、伊保之浜、兼久等の住民)が久志村の三原、
	中旬	汀間、瀬嵩、大浦、大川、二見等へ疎開。
	3/21	西原村出身の婦女子多数が棚原野戦病院医務室、池田野戦病院等に補助看護婦として雇員召集される。
	3/23	米軍の艦載機による空襲が行われる。西原村民は池田、桃原一帯の山間部の防空壕や墓へ避難する。
	3/26	26 日から西原村内間も爆撃され、ほとんど壊滅した。 「鉄血勤皇隊」編成。守備軍各部隊に配置される。 第 32 軍司令部老幼婦女子の北部疎開停止を命ずる。
	4/1	米軍、読谷付近から沖縄島上陸。 西原村民は池田のヘンサー一帯へ避難する。 夜半、地方事務所職員の命令により、西原村役場の重要書類を焼却する。
	4/2	夕方、西原村上原一帯の石部隊陣地が艦砲の集中砲撃をうける。
	4/5	米軍、南上原、上原高地、棚原、浦添村西原等主要陣地に進出。
	4/19	米軍、首里外郭陣地(主力第 62 師団)に対し第一次総攻撃を開始。西方は牧港・伊祖・嘉数・西原・棚原の各高地、東方は和宇慶・宇須久美多(内間)高地を結ぶ線にて攻防戦を展開。
	4/22	米軍、火焰放射装備車を含む戦車 14 両を伴って上原高地に攻撃を開始。
	4/23	米軍、棚原方面で火焰放射及び砲撃を開始する。
	4/24	米軍、嘉数の日本軍陣地をせん滅。178 高地(内間高地※)も占領する。 第 62 師団(石部隊)、第一線を仲間・前田・幸地の線まで撤退する。 第 32 軍司令部、首里周辺の非戦闘員に南部への移動を命ずる。

- 4/25 米軍が第二次総攻撃を開始する。西方、仲西・勢理客、中央、仲間・前田・幸地、東方、小波津・我謝等の各地点を中心とする攻防戦が展開。
- 4/30 午前5時30分頃より小波津丘陵の日本軍陣地から米軍に対し猛烈な迫撃砲と機関銃攻撃が加えられ、至るところで接近戦、白兵戦が展開。
- 5/1 米軍、運玉森へ進出する。
- 5/2 米軍、夜襲(午前2時30分～5時30分)で我謝高地を占領する。その後、日本軍が迫撃砲攻撃で撃退する。
- 5/3 日本軍は、187高地と幸地、翁長、小那覇地区の陣地を引き続き固守する。
- 5/4 第32軍総攻撃を開始する。日本軍最後の攻勢で、100～200人の集団で約2000人が夜明け前、米軍に反撃する。
西原村の小波津・呉屋・翁長・棚原・幸地一帯で両軍の死闘が展開される。
- 5/5 第32軍の総攻撃は失敗し、日本軍は甚大な損害を蒙る。
西原村では山部隊第89連隊第1大隊、第3大隊の2000人の内この戦闘でほとんどの将兵が戦死し負傷者も含めて100人余しか存在しなかった。
- 5/6 米軍、我謝高地を占領する。棚原北断崖で、日本軍は強力に抵抗するが、夕刻までには撃滅させられる。
- 5/7 午前9時頃から戦車を伴う米軍が我謝に進出。第一線は我謝・幸地・前田南側を結ぶ線になる。
日本軍、小波津に進軍しようとしたアメリカ軍の前進を阻む。
米軍占領下の石川に初の学校・城前初等学校が開校する。
- 5/8 豪雨のため日・米両軍とも動きがとれない。
西原村与那城のアメリカ軍の偵察隊に対し、日本軍が猛烈な小火器攻撃を加える。
- 5/9 米軍は小波津正面より運玉森を目標に攻撃を開始する。
- 5/10 米軍の前線が西方は安謝、中央は浦添村沢岬、西原村幸地、東方は小波津、我謝等の地点まで拡大する。
運玉森北方の我謝集落54高地が米軍の猛攻撃を受ける。
- 5/11 米軍、運玉森の北西斜面を占拠する。
米軍、第32軍の本拠地首里陣地の包囲隊形を整える。
- 5/12 小波津の西南西1100ヤードの丘を守備していた日本軍が全滅する。
- 5/13 米軍(第96師団)は午後四時までに運玉森の頂上及び北西斜面を占拠する。

- 5/14 米軍、小那覇飛行場と我謝を占領する。
運玉森の西と南西の丘で猛烈な戦闘が続き、日本軍は、その陣地を死守する。
- 5/18 東風平村に避難していた西原村民に臨時防衛召集がかかり、村長以下約 50 人が東風平村富盛に駐屯していた第 24 師団(山部隊)の輜重隊に入隊し、食糧や弾薬運搬等に従事する。西原村長小波津正光氏は、その後沖縄戦で殉職した。
- 5/20 運玉森の南斜面で、日米両軍の死闘が展開される。
- 5/22 第 32 軍、首里を放棄し、南部喜屋武方面へ後退することを決定する。
- 5/25 運玉森、米軍に占領される。
- 6/1 知念方面に避難していた西原村民はキャンプ内に收容される。
- 6/7 宮平一氏(元西原村長)志喜屋区長に就任す。
- 6/13 大田実海軍少将指揮の沖縄方面根拠地隊、小禄地区で玉碎、大田司令官は幕僚らと司令部屋内で自決。
- 6/19 第 32 軍司令部「鉄血勤皇隊」を解散させる。
- 6/23 牛島司令官、長参謀長、摩文仁で自決。
- 6 月 米軍、沖縄基地の整備を進め、小那覇飛行場にも 1500m 滑走路を整備。
- 7/2 米軍、沖縄作戦終了を宣言する。
- 7 月 棚原、上原、千原の日本軍陣地跡に 200 人余の兵士と数人の住民らが潜伏。
- 8/6 米機 B29、広島に原子爆弾を投下する。(死者推計約 14 万人) ※③
- 8/9 米機 B29、長崎に原子爆弾を投下する。(死者約 7 万人) ※④
- 8 月 西原村内の陣地に潜む日本軍敗残兵士に対する掃討作戦が激しくなる。
- 8/15 天皇、戦争終結の詔書をラジオから放送する。
- 8/23 千原の陣地に潜伏していた山部隊の敗残兵数十人が投降。
- 9/9 西原に潜伏中の敗残兵 170 人余が投降し、屋嘉收容所に連行される。
- 12/27 西原に駐屯していた独立歩兵第 11 大隊第一中隊の 5 人が屋嘉收容所に收容される(5 月末から 12 月下旬まで壕内生活)。

※①焼失戸数及び死傷者数については総務省 HP「一般戦災死没者の追悼・東京都における戦災の状況」より

※②町史には内間とあるが、上原のことと思われる。

※③死者数については総務省 HP「一般戦災死没者の追悼・広島市における戦災の状況」より。

※④死者数については、「ながさきの平和」HP 内「原爆の威力」より。

(参考：『西原町史』第 3 巻・資料編 2「西原の戦時記録」)

[西原町教育委員会 令和 7 (2025) 年 6 月]